



Sasayama Elementary School

学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成30年11月30日発行

平成30年度 第8号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

はきものをそろえると、心もそろろう

学校長 三瓶 徹

早いもので、今年ももう師走です。寒気が次第に強く日も短くなり、追われるように日々が過ぎる月となります。

さて、校舎内を回りながらふと昇降口の下駄箱を見てみると、どの学年の子どもたちの靴が、きちんとそろえて収まっていた。とても気持ちよく思えました。ふと、ある詩を思い出しました。

はきものをそろえる

はきものをそろえると 心もそろろう

心がそろろうと はきものもそろろう

ぬぐとときに そろえておくと はくとときに 心がみだれない

だれかが みだしておいたら だまってそろえて おいてあげよう

そうすればきっと 世界中の人の心も そろろうでしょう

この詩は、長野県にある円福寺の住職であった藤本幸邦さんという方がつくった詩です。

戦後、空襲によって焼け野原になっていた東京で、親を戦争で亡くした子どもたちを集めて、自分の寺で育てることにしたのです。ところが、ある日玄関を見ると、脱ぎ捨てられた靴が折り重なったり、あちらこちらにばらばらになったりしていたのです。それを見た藤本さんは、また心を痛めてしまったのです。

そこで、藤本さんは子どもたちに、「はきものをほっぽらかしにしておくと、また戦争になってしまうぞ」と教えたのです。これがきっかけとなってこの詩をつくったのだそうです。

この詩は、子どもたちに何を教えようとしたのでしょうか。

私は、このように受け止めています。つまり、自分の靴をそろえずに脱ぎっぱなしにするという行動は、他の人がどのような気持ちになるのかということをもまったく考えていないということを表しているのです。しかも、自分さえよければいいといった、とても自分勝手な考え方しかしていないということを表す行動だということです。反対に、自分の靴をそろえることができる人は、心が穏やかで、自分の行動を冷静に考え、他の人がどのような気持ちになるかも考えることができる人です。しかも、そのような人は、他の人が乱した靴をだまってそろえることができる人でもあるのです。

このように、一人ひとりが、自分のことを落ち着いて見つめたり考えたりしながら行動することは、とても大切なことです。しかも、他の人の気持ちにも考えを巡らせることができるようになれば、お互いに気持ちのよい生活ができると思います。

今月10日は、「世界人権デー」と定めています。本校でも、4日から10日までを人権週間とし、人権についての学習を深めます。さらに楽しい学校生活を築くために、自分を大切にすると、相手を大切にする心をもって、日々の活動に励んでください。